

◆土岐市立総合病院

1. 医療機能

1-① 医師・看護師・技師の確保の状況（3か年・人）

	R3.3.31		計画		R2.3.31		H31.3.31	
	指定管理移行				指定管理前			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師数	30.6	13.1	20	14.2	21	19.5	22	17.8
看護師数 (准看含む。)	95	19.7	99	20.4	109	30.4	132	34.5
技師	48	4.7	44	8.4	59	4.9	61	8.4
薬剤師	5	2.1	6	0.8	8	0.8	8	1.5
診療放射線技師	10	0.5	11	0.5	11	0.5	11	1.0
臨床検査技師	9	1.6	6	3.8	9	0.9	11	3.5
理学療法士	7	0	6	0	9	0	9	0
作業療法士	5	0	5	0	7	0	7	0
言語聴覚士	1	0.2	1	1.0	2	1.0	2	1.0
視能訓練士	2	0	2	0	2	0	2	0
臨床工学技士	6	0	6	0	6	0	6	0
管理栄養士	1	0	0	2.0	3	1.4	3	1.4
歯科衛生士	1	0.3	1	0.3	1	0.3	1	0
臨床心理士	1	0	0	0	1	0	1	0

※R3.3.31 実績の臨床研修医9名は、医師数の常勤に含める。

1-② 診療科別医師数 (3か年・人)

	R3.3.31		計画		R2.3.31		H31.3.31	
	指定管理移行				指定管理前			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	2	3.9	1	1.1	2	1	2	0
神経内科	1	0.5	1	0.3	2	0.4	2	0.5
呼吸器内科	0	0.3	0	0.6	0	0.6	0	0.6
消化器内科	0	0.7	0	0.1	0	0.6	2	1.1
循環器内科	0.6	0.4	0	0.8	0	0.5	0	0.6
内分泌内科	0	1	0	0.5	0	1.4	0	1.8
血液内科	1	0	1	0	1	0	1	0
腎臓内科	1	0.1	2	0.1	1	0.1	1	0.1
リハビリ科	1	0.8	0	0	0	0.8	0	0.8
小児科	2	1.3	1	1.1	2	0.5	1	0.5
外科	4	0.1	4	0.3	4	0.4	4	0.4
整形外科	1	1.1	1	1.0	1	0.8	1	0.9
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	3	0	4	0	3	0	3	0.1
心臓血管外科	0	0.4	0	0	0	0.1	0	0.1
皮膚科	0	0.2	0	0	0	0.4	0	0.4
泌尿器科	0	0.9	0	0.7	0	0.8	0	0.8
婦人科	1	0.2	1	0.4	1	0.4	1	0.4
眼科	1	0	1	0	1	0	1	0
耳鼻咽喉科	0	0.2	0	0	0	0.6	0	0.6
歯科	1	0	1	0	1	0	1	0
麻酔科	0	0.5	0	0.7	0	0.6	0	0.6
精神科	1	0.3	1	0.2	1	0.4	1	0.4
放射線科	0	0.1	0	0.3	0	0.4	0	0.4
検査科	1	0.1	1	0	1	0.1	1	0
臨床研修医	9	0	0	6	0	8.6	0	6.7
合計	30.6	13.1	20	14.2	21	19.5	22	17.8

※R3.3.31 実績の臨床研修医9名は、常勤として計上

1-③ 外来患者数 (3 か年・人)

診療科	R2 年度	計画	R 元年度	H30 年度
	指定管理移行		指定管理前	
内科	30,216	—	39,234	44,982
外科	3,239	—	4,464	4,563
婦人科	989	—	1,126	1,038
眼科	5,365	—	7,302	7,193
耳鼻咽喉科	2,766	—	4,422	9,101
整形外科	9,759	—	11,034	13,384
小児科	3,599	—	5,805	6,365
泌尿器科	3,301	—	3,982	4,016
歯科	1,799	—	2,244	2,796
脳神経外科	3,666	—	3,859	3,809
皮膚科	1,995	—	2,366	3,074
形成外科	0	—	0	32
精神科	4,127	—	4,462	4,847
放射線科	0	—	456	584
合計	70,821	94,770	90,756	105,784
※前年度比	22.0%減	4.4%増	14.2%減	

1-④ 入院患者数 (3 か年・人)

診療科	R2 年度	計画	R 元年度	H30 年度
	指定管理移行		指定管理前	
内科	19,164	—	25,332	30,124
外科	4,668	—	5,435	5,652
眼科	1	—	139	249
耳鼻咽喉科	0	—	8	456
整形外科	3,751	—	4,951	5,009
小児科	134	—	309	371
泌尿器科	0	—	17	0
脳神経外科	11,328	—	10,474	10,945
皮膚科	2	—	0	0
合計	39,048	47,450	46,665	52,806
※前年度比	16.3%減	1.7%増	11.6%減	

1-⑤ 手術件数 (3 か年・件)

診療科	R2 年度	計画	R 元年度	H30 年度
	指定管理移行		指定管理前	
外科	80	—	66	113
眼科	0	—	70	110
形成外科	0	—	0	1
耳鼻科	0	—	0	24
整形外科	150	—	175	197
脳外	233	—	237	223
合計	463	—	548	668
※前年度比	15.5%減	—	18.0%減	

1-⑥ 外来単価・入院単価 (3 か年・円)

	R2 年度	計画	R 元年度	H30 年度
	指定管理移行		指定管理前	
外来単価	12,382	—	10,935	10,844
入院単価	47,941	—	44,224	45,959
※前年度比 外来	1,447 円増	—	91 円増	
※前年度比 入院	3,717 円増	—	1,735 円減	

2. 政策的医療

2-① 時間外患者数・救急搬送件数 (3 か年・人)

	R2 年度	計画	R 元年度	H30 年度
	指定管理移行		指定管理前	
時間外患者	1,672	—	5,200	5,593
救急搬送	1,127	—	1,240	1,366
合計	2,799	—	6,440	6,959
※前年度比	56.5%減	—	7.5%減	

※時間外：R2 年度以降 17：15～、R 元年度以前 11：30～（診療時間外）の集計

2-② 脳卒中センター救急患者数 (3 か年・人)

	R2 年度	計画	R 元年度	H30 年度
	指定管理移行		指定管理前	
脳卒中センター救急患者	587	—	814	852
※前年度比	27.9%減	—	4.5%減	

2-③ 小児外来患者数・小児入院患者数・小児救急患者数（3か年・人）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
小児外来患者	3,463	—	5,805	6,365
小児入院患者	134	—	309	371
小児救急患者	136	—	719	852
合計	3,733	—	6,833	7,588
※前年度比	45.4%減	—	9.9%減	

※小児救急患者：R2年度以降17：15～、

2-④ リハビリテーション実施件数（外来）（3か年・人）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
脳血管	1,464	—	3,412	4,586
廃用	2	—	5	105
運動器	1,487	—	2,118	3,432
呼吸器	3	—	26	57
摂食	0	—	9	21
合計	2,956	—	5,570	8,201
※前年度比	46.9%減	—	32.1%減	

2-⑤ リハビリテーション実施件数（入院）（3か年・人）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
脳血管	15,430	—	15,683	17,065
廃用	3,905	—	3,672	4,428
運動器	6,597	—	7,759	7,120
呼吸器	2,599	—	3,439	2,507
がん	522	—	816	892
摂食	211	—	1,642	1,460
合計	29,264	—	33,011	33,472
※前年度比	11.4%減	—	1.4%減	

3. 地域医療連携

3-① 紹介率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
紹介率	47.0	—	55.3	57.0
※前年度比	8.3ポイント減	—	1.7ポイント減	

3-② 逆紹介率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
逆紹介率	39.1	—	75.1	59.6
※前年度比	36.0ポイント減	—	15.5ポイント増	

3-③ 人間ドック等の実施件数（3か年・件）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
人間ドック	1,278	—	759	779
健康診断	650	—	622	743
合計	1,928	—	1,381	1,522
※前年度比	39.6%増	—	9.2%減	

7. 事業報告・経費の収支状況等

7-① 職員給与費対医業収益比率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
職員給与費対医業収益比率	66.3	—	67.3	66.3
※前年度比	1.0ポイント減	—	1.0ポイント増	

7-② 材料費対医業収益比率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
材料費対医業収益比率	18.5	—	17.4	18.4
※前年度比	1.1ポイント増	—	1.0ポイント減	

7-③ 経費対医業収益比率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
経費対医業収益比率	16.1	—	20.9	20.0
※前年度比	4.8ポイント減	—	0.9ポイント増	

7-④ 後発医薬品使用率（入院患者のみ）（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
後発医薬品使用率	86.5	—	90.3	88.5
※前年度比	3.8ポイント減	—	1.8ポイント増	

7-⑤ 固定比率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
固定比率	3.6	—	162.9	134.9
※前年度比	159.3ポイント減	—	28.0ポイント増	

※固定比率：固定資産÷（資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益）×100

固定比率は、自己資本（自己資本金＋剰余金）に対して、固定資産の割合を示すもので、固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましいとされている。

7-⑥ 流動比率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
流動比率	78.9	—	94.7	119.2
※前年度比	15.8ポイント減	—	24.5ポイント減	

※流動比率：流動資産÷流動負債×100

流動比率は、流動負債に対する換金性の強い流動資産の割合を示すもので、一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の1.5倍（150%）以上であることが望ましい。

7-⑦ 酸性試験比率（3か年・％）

	R2年度	計画	R元年度	H30年度
	指定管理移行		指定管理前	
酸性試験比率	74.1	—	92.7	113.7
※前年度比	18.6ポイント減	—	21.0ポイント減	

※酸性試験比率：現金預金＋（未収金－貸倒引当金）÷流動負債×100

酸性試験比率は、流動資産のうち現金、預金及び未収金などの当座資産の流動負債に対する割合を示すもので、100%以上が望ましいとされている。